

第2号議案

令和7年度事業計画（案）

1 骨子

大分県 LSI クラスタ形成推進会議は、平成 17 年に産学官が一体となり、本県進出の大手企業と地場企業が共に発展する「おおいた LSI クラスタ」の形成を目指し設立されました。以来、世界市場において競争力を持つクラスタを目指し、研究開発や人材育成、販路開拓、情報提供、会員交流など多岐にわたる活動を展開してきました。

平成 20 年には企画委員会を設置し、地場企業が主体的に活動する事業形態へと変革を推進。これにより、自立した企業が多数育ち、技術力を高めながら事業を拡大し、研究開発助成や海外展開支援を活用して新市場に挑戦する企業も増加しました。平成 27 年以降は「幅広い情報の収集」「新たなネットワークの構築」「新分野への活動展開」を重点方針とし、令和 4 年からは新たなスローガン・ビジョンの下、より強固な活動基盤を築いてまいります。

現在、地政学的リスクの高まりと先進国政府による半導体産業支援の拡大を背景に、世界の半導体供給網が大きく再構築される中、九州圏内の半導体関連産業も急速に成長を遂げています。

TSMC の熊本進出を契機に、シリコン材料、半導体製造装置、半導体パッケージ分野などで新工場の建設が相次ぎ、九州全体として供給能力の拡大と技術革新が進んでいます。また、経済面においても、九州・沖縄・山口の 13 地銀が連携協定を結び、「競争から共創へ」という新たな価値創出を目指した取り組みが加速しています。これにより、「新生シリコンアイランド」としての九州の成長戦略が一段と前進すると期待されます。

こうした背景の下、当クラスタがさらなる成長を遂げるためには、半導体を巡る世界情勢や政府の政策動向を迅速にキャッチアップし、九州圏内はもとより、連携協定を締結した岩手・三重両県の半導体関連企業会など圏外の団体との関係づくりを強化するとともに、こうした枠組みを活用した B C P 連携も促進していかなければなりません。加えて、これまで培った技術・人材・ネットワークを最大限に活用し、中九州横断道路の整備進捗を見据えたサプライチェーン強化を進めることで、新たなビジネスチャンスの創出を図ります。

さらに、「新生シリコンアイランド」としての産業集積の拡大に加え、高付加価値を生み出す「知の集積」にも注力し、九州・大分の半導体産業を持続的に発展させる必要があります。その実現には、半導体産業を支える人材の確保・育成が不可欠であり、リスクリングの充実などについて、引き続き、産学官連携を強化しながら取組を進めていきます。

当推進会議は、専門部会の連携をさらに強化し、多様な情報収集・活動を展開するとともに、効率的・効果的な事業運営を推進します。「未来を拓く 産業モデルの創出～想いをカタチに 共感で広げる～」をスローガンに掲げ、グローバルな競争力と活動力を備えた企業群を形成し、九州半導体人材育成等コンソーシアムの活動成果も取り込みながら、九州・大分における地域間連携をさらに深化させてまいります。

2 専門部会活動方針

イノベーション部会

新技術の創出に資する有望な研究開発テーマの掘り起こしを進めるとともに、新事業にチャレンジする企業を支援していく。

培われた半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を推進すべく、有識者セミナー等を開催し、企業革新を計れる(変革を図れる)人材の育成を推進していく。

九州一丸で進められている「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の一翼を担うべく、産学官連携をより強くし、率先して半導体関連人材を育成する。

マーケティング部会

会員企業のビジネス拡大を目的に、大規模展示会や商談会への出展・参加を通じて、会員企業の技術・製品・サービスのPRを行うとともに、新たな繋がりやビジネスの可能性を広げる取組に対して支援を行う。

ネットワーク部会

不確実性をチャンスに変えていくため、企業競争力を高めるリーダー育成、最前線の知見共有と価値を創出するネットワークの構築を推進する。

会員同士の交流や国内外の同業・異業種企業・団体との交流、人材確保に向けた産学の交流等を推進する。

3 事業内容

(1) 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター」の事業計画等を協議・推進するため、理事会、企画委員会、審査会、専門部会、連絡協議会を開催する。

- ① 理事会 (年度当初、年度末)
- ② 企画委員会 (年5～6回程度)
- ③ 審査会 (随時)
- ④ 専門部会 (随時)
- ⑤ 連絡協議会 (随時)

(2) 総会・フォーラムの開催

①総会

「おおいたLSIクラスター」の取組を、推進会議の会員や県内外に広く周知するために、総会を開催する。

②フォーラム

最新の半導体技術や産業動向等の情報収集の場として、フォーラムを開催する。

特に、世界市場に向けた企業の海外戦略や研究開発等のアライアンスの取組等について、先進事例を紹介する。

(3) イノベーション事業の実施

①補助金の交付

半導体関連技術を基にした新分野・新技術に関する研究開発及び新規事業への取組などに対して補助金を交付するとともに、成果報告会を通じてアドバイスや支援を行い、事業化を後押しする。

また、産学連携による研究活動への取組に対して補助金を交付する。

②セミナーの開催

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を目指す会員企業を対象に、技術者塾や事業創出セミナー等を開催する（リスクリングの充実）。

③学との連携・広域連携

企業課題を解決すべく、産学連携による研究活動を支援するほか、新たなシーズの創出を図る。

半導体人材の育成を目的に、半導体教育（教育機関講座への支援、若年層教育の導入）を実施する。

④半導体技術者基礎講座

新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を実施する。

（４）マーケティング事業の実施

①海外ビジネス交流

台湾電子設備協会との交流に加え、その他の諸団体との交流を模索し、幅広い事業分野での台湾企業とのビジネス開発を目指す。

また、台湾を通じてその他アジア地域へのビジネスチャンスを探る。

②展示会出展

セミコンジャパンに九州パビリオンとして継続出展し、会員企業のビジネスチャンス拡大を支援する。また、会員企業の技術・製品・サービスをPRするとともに、「おおいだL S I クラスタ」活動を紹介する。

③ビジネスマッチング

九州半導体・デジタルイノベーション協議会、ならびに地域間（企業）連携を促進するとともに、国内外の大手企業のニーズ調査を行い、マッチングを推進することで、会員企業のビジネス拡大を支援する。また、台湾商談会、セミコンジャパンを通じてマッチングの支援をする。

（５）ネットワーク事業の実施

①会員企業相互の交流

会員企業の幅広い層を対象に、半導体業界の最新動向や技術情報、新分野・成長分野への展開に向けた情報を提供するため、セミナーを開催するとともに、国内外における経営者相互の交流を図る。

②会員間及び産学官のネットワークづくり

大分県自動車関連企業会や大分県医療ロボット・機器産業協議会等の県内他企業会や産学官各団体、九州圏内各団体との交流の場を提供し、市場動向や技術動向等に関する情報交換を行うとともに、会員間のネットワークを形成する。

産学交流は、会員の人材確保につなげるべく推進し、大分県工業連合会との連携事業（おおいだテクノピッチ等）にも取り組む。

会員企業、県外団体間での『災害時における相互協力に関する合意書』の周知推進による企業間連携の向上、BCP 連携の定着、企業・大分の強みとしてのBCP体制の強化を図る。

③広域的な交流の推進

連携協定を締結した岩手県・三重県、並びに他地域クラスターと広域的に交流し、「顔の見える」信頼関係づくりに努めながら、情報の共有と収集を図る体制の構築、会員企業の多様な技術活用やビジネス拡大、グローバル化等に結びつける。